

(抄訳)

**AIG は、メイデン・レーン III の競売による収益で
2008 年に AIG が行った 50 億ドルの融資が
全額 (利息を含む) 返済されたことを確認**

ニューヨーク、2012 年 7 月 17 日—アメリカン・インターナショナル・グループ・インク (ニューヨーク証券取引所銘柄: AIG) は、本日、2008 年に AIG がメイデン・レーン III エルエルシー (「ML III」) に対して行った 50 億ドルの融資が全額返済されたことを確認しました。当該返済には、ニューヨーク連邦準備銀行 (「NY 連銀」) が完了させた、ML III の特定の資産にかかる競売の収益が充てられました。

AIG のプレジデント兼 CEO のロバート・H・ベンモシェは以下のように述べました。「AIG は、米国の納税者に補償し、さらには利益を与えることができるよう、引き続き尽力しています。ML III の資産の売却が継続して成功していることは、我々が、米国政府におけるパートナーと共に、米国の納税者により有利に AIG における投資を回収させるという目標の達成に向け、また一步前進したことを表しています。」

2008 年に設定された当初、ML III は NY 連銀から 243 億ドルを借入れ、これを AIG による 50 億ドルの融資と合わせて、特定の AIG 子会社の取引の相手方から債務担保証券のポートフォリオを購入するための原資としました。AIG は合計 56 億ドルの返済を受けており、これには AIG による ML III への融資に対する利息も含まれます。AIG および NY 連銀は以前、NY 連銀に対する ML III における借入残高は全額返済されたと確認しました。AIG は、将来 ML III 資産の売却から得られる残余利益の 3 分の 1 を引き続き受領する予定であり、これまでも既に 4.27 億ドルの残余利益を受領しています。

米国政府が承認した AIG への援助の最高額は 2008 年に 1,820 億ドルに達し、そのうちの 210 億ドルは未使用、もしくは枠組み自体が解消されました。返済、払い戻し、引き換え、売却およびその他の活動を通して、米国政府による AIG への援助の合計借入残高は、約 83 パーセント、すなわち 1,520 億ドル減額し、残る投資は、米国財務省が保有する約 10.6 億株の AIG 普通株式となりました。1,520 億ドルの減額は、当初承認された援助に対する減額のみを含むものであり、NY 連銀が ML II について得た利益またはこれまで ML III について得た利益は含まれていないという点に留意ください。

#

AIG グループは世界の保険業界のリーダーであり、130 以上の国で顧客にサービスを提供しています。AIG グループ各社は、世界最大級のネットワークを通して個人・法人のお客様に損害保険商品・サービスを提供しています。さらに、AIG グループ各社は、米国における生命保険事業及びリタイアメント・サービスの主要な事業者です。AIG の普通株式はニューヨークおよび東京の各証券取引所に上場されています。